

☆高野博子先生 長崎にて女性小児歯科医へメッセージを送る☆

平成 24 年 10 月 28 日(日)長崎大学医学部にて、《女と男(ひととひと)ともに活かす小児歯科》というメインテーマのもと第 30 回日本小児歯科学会九州地方会が開催され、この学会のシンポジウム『女性が語る小児歯科の魅力—更なる可能性を探る』にシンポジストとして女性小児歯科医委員長の高野博子先生がご講演されました。

高野先生の講演は、「地域に支えられ開業 そして地域のオーラルヘルスケアを支援」というテーマで、開業医における女性の特性を活かした小児歯科診療のあり方、先生の地元東京都葛飾区での歯科保健活動を小児歯科の専門家としてけん引する様々な事業の紹介等大変興味深い内容でした。

女性の継続就業に関するお話では、日本は未だに女性が出産を期に仕事から離れてしまう率が高く、他の先進国と比較しても、女性の働き盛りの年齢の就業率が下がっているとのことでした。この状況を何とかすべく、厚労省も支援の充実を推進すべきと考えているそうです。

後輩から見ますと、公私ともに充実した人生を送られ、常にパワフルに活動される理想の先輩である高野先生ですが、先生も、仕事を続けることによって育児に支障はないのだろうかと悩んだことが何度もあったそうです。そんな時に先生を支えたのは、このワーク・ライフ・バランスの言葉だったそうです。

ワーク・ライフ・バランス

皆さん良き母におなりなさい

良き母は強き母です

仕事も家事も育児も生活の一部です

大変と思っではいけません

当たり前と思いなさい

そして日本国民の産みの親として

母性愛を発揮して社会事業に関わりなさい

「何でも中庸でいいのです。ひとりで頑張りすぎず、仕事とプライベートをうまく調整し、楽しい小児歯科医療を続けてください。そして、自分のためだけではなく、10年後の後輩のために、何より子ども達のために、女性歯科医師が継続就業できるような環境を皆で一緒に作り上げていきましょう。」

講演は、高野先生の若い女性歯科医への応援メッセージで、盛況に終了しました。



講演風景



高野委員長（左）と行成大会長（右）

文責：高風亜由美実行委員長（九州地方会連絡協議会委員会メンバー）